

## Global Leadership Fellows Forum 9 期生中間発表会 要旨

### <プレゼンテーション①> 14:10~14:50

#### **表題: アグロエコロジー (Agroecology) : コミュニティー、農業、環境の関係性の強化 要旨**

現代の農業制度は、大規模農家や農業法人の利益が優先される一方、小規模農家、地方や先住民のコミュニティ、そして環境を犠牲にしている。アグロエコロジーが、この問題の解決になる。アグロエコロジーは、生態系と社会的要素を考慮しながら、環境保全と我々の健康維持を目的とした農業への学際的アプローチを意味する。アグロエコロジー運動は、我々と環境の関係性の改善と、有害な単作農業制度からの脱却を目指すものである。様々な持続可能な農業技術や地域の知識の応用を通して、アグロエコロジーは小規模農家の成功の支援、地域密着型の経済機会の創出、そして、食安全保障、文化の活性化と社会凝集性などの問題に取り組む。発表では、天然資源活用の長期的実行可能性を確実にするアグロエコロジーの様々な事例を紹介する。また、コミュニティが、どのようにアグロエコロジーを既存のフードシステムに応用し成功したのかも紹介する。

### <プレゼンテーション②> 15:10~15:55

#### **表題: 人工知能 (Artificial Intelligence) の未来 : 有望性と危険性 要旨**

人工知能の進化は、これまでの他の技術革命とは全く異なる進化を示している。人工知能の進化は、単に技術力の革命を意味するだけではなく、知的活動そのものの革命を意味する。人工知能は、戦争からビジネス分野、芸術分野などあらゆる分野に関連するとともに、倫理的な問題も含んでいる。人工知能の進化は、その無限の有望性ととともに危険性を孕んでいるという意味で、人類の歴史において最も重要な出来事である。

人工知能がもたらす加速度的な変化の重要性を考慮すると、人工知能の進化を取り巻く倫理と方策の議論、未来の行動に指針を与える具体的な理論の構築が重要である。発表では、人工知能と私たちの生活の関わり、人工超知能 (superintelligence) への移行がもたらす可能性の概要を示すことで、人工知能の問題を議論するきっかけとしたい。

### **<プレゼンテーション③> 16:15~16:45**

#### **表題: 日本における経済と環境のトレードオフのバランス均衡と食料廃棄削減の模索**

#### **要旨**

2022年の報告書によると、世界では毎年約25億トンもの食料が廃棄されている。食料廃棄とは、金銭的浪費だけでなく、土地資源、水資源、エネルギー資源、そしてその他の天然資源の浪費を意味する。食料ライフサイクル過程では、食料の生産、加工、輸送、分配、準備、消費、そして不要になった食料の廃棄のサイクルをたどる。そして、各段階が温室効果ガスの排出と気候変動に関わっている。発表では、食料廃棄に焦点を当て、食料生産から消費に至るまでの一連の課程において、本来、消費のために使われるはずの食料の廃棄を削減するための方法を考察する。発表では、様々な段階で出される食料廃棄の削減とともに、経済と環境のトレードオフのバランス均衡を可能にする新たな方法を提唱する。食料廃棄問題の解決には、消費者と企業の両方の行動と習慣を変えるような経済的インセンティブの考慮が重要である。